

## ごあいさつ

この度、キリスト教出版社「イーグレープ」さまのご厚意により、『中川牧師の一日一章』を出版させていただくことになりました。この企画は、これまでの伝道活動の集大成になるのではないかと考えています。

(1) 『中川牧師の一日一章』は、全5巻のシリーズになる予定です。内訳は、旧約聖書が「モーセの五書」、「歴史書」、「文学書」、「預言書」の4巻、「新約聖書」が1巻、合計5巻です。2021年12月に「モーセの五書」を上梓し、それ以降、半年毎に1巻を上梓し続けます。第5巻「新約聖書」は、2023年12月の上梓を予定しています。およそ3年にわたる大プロジェクトとなりますので、ご加禱くだされば感謝です。

(2) 執筆の動機は、毎日聖書を1章ずつ読んで静思の時を持つための助けとなる本を出版したいということです。聖書通読の重要性は言うまでもありませんが、十分な聖書知識がないままで通読に取り組んでも、思うような祝福に与れないというのが一般のクリスチャンの体験ではないでしょうか。本書が、豊かな静思の時を持ちたいと願っておられる方の助けになるなら、これほど嬉しいことはありません。

(3) 日々の解説を、1800字以内に収めました。また、各章の解説の冒頭で「この章から、以下のことを学びましょう」という項目を設け、要点をまとめています。これは、各章の方向性を確認するためのガイドラインです。このような体裁になっていますので、一日分の解説は、普通に読めば5分前後で読み終わると思います。もちろん、じっくり時間をかけて読んでいただいても結構です。

(4) 執筆に際して、次の2点に注意しました。①字義通りの解釈にこだわる。つまり、著者が何を意図したかを探ることに重点を置いたということです。私的解釈や比喩的解釈は、極力排除しました。②ヘブル的視点からの解釈にこだわる。字義通りの解釈とヘブル的視点からの解釈は、コインの裏表です。

筆者は、「聖書研究から日本の霊的覚醒（目覚め）が」というモットーを掲げ、それに基づいて活動しています。本書が、「日本の霊的覚醒（目覚め）」に少しでも寄与することができるなら、幸いです。

2021年8月

中川健一

### ■ 中川健一プロフィール

ハーベスト・タイム・ミニストリーズ代表

1970年一橋大卒。6年間のサラリーマン生活の後、米国トリニティ神学校留学。1979年同校卒。1979年から、東京都町田市において開拓伝道開始。1986年から、福音テレビ放送団体『ハーベスト・タイム・ミニストリーズ』を設立し、テレビ伝道を展開。2010年3月、テレビ伝道終了。それ以降、インターネット上で弟子訓練プログラムを中心とした種々の働きを展開。著書に「日本人に贈る聖書ものがたり」（文芸社）シリーズ（全4巻）がある。イスラエルを何度も訪問し、聖書の世界を探求し続けている。